（別添資料１）

事業所名	放課後等デイサービス　わかば	支援プログラム	作成日	令和7 年	3 月	20 日

法人（事業所）理念		「わかば」は、障害持つ子どもが安心して地域で過ごす居場所を提供することを目的とします。「わかば」で過ごす時間が子どもにとって楽しいと思ってもらえるような場所となるように、適切な活動プログラムの提供や仲間づくり、またおとなと子どもの信頼に基づいた関係を築きます。
支援方針		ひとり一人の障害を持つ子どもにとっては、社会に適応する力を持つことは必要と考えます。一方で、ひとりの人間として、ありのままに、またあたりまえに社会に参加し、人としての誇りと生きがいをもって生きる力を持つこともまた大切と考えます。これら「適応力の育成(療育)」と「ありのままの存在を受容すること」を基本にして支援に当たります。
営業時間		10 時 0 分から 18 時 0 分まで　送迎実施の有無：あり
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・心も身体も健康に日常生活が送れるよう、ひとり一人に合わせた支援を行います。 〇健康の維持・改善のための体力作りや生活習慣、生活リズムの形成と見直し：散歩、遊び、運動、歯磨きの補助、午睡の管理、手洗い、 〇基本的生活スキルの獲得：着替え、トイレ、片付け、買い物、乗り物マナー…等々 〇生活におけるマネジメントスキルの育成：自己管理力（切り替え、健康、お金等)の形成、生きやすく暮らすための環境作り
	運動・感覚	・五感で感じたことを相手に伝えたり、苦手な感覚への対応を一緒に考えたりする能力を育てます。 〇暖かい、寒い、痛い、苦しい、眠い、トイレに行きたい等々を自分の方法で周りに伝える能力を育てます。 〇利用者の不快な感覚を事前に把握し、その方に合わせた対応を行います。（イヤーマフの使用、エアータオルのトイレは避ける、犬の散歩と遭遇した時は本人を守る、事前に「〇〇があるから3分だけ我慢しよう」と伝える等々） 〇苦手な感覚の補助：補聴器や眼鏡の使用、アレルギーの把握とその対処、力加減を覚える、体温管理をする等々 ・身体の成長や変化に合わせた運動（微細運動、粗大運動)に取り組みます。体力や運動能力の向上、維持を支援します。 〇運動・動作の基本的技能の向上：散歩、スポーツ、遊び等を通しての体力作り。箸やスプーンの練習、ビーズ通し、大工仕事、仕分け作業…等々。 〇姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用：車椅子や歩行具等の使用 〇感覚から運動・動作へ：手本を真似る(話し方を真似る、字を真似る…等々。）
	認知・行動	・認知した情報(自分が見たもの、聞いたもの、感じたもの）から、その情報を基に適切な行動が選べるように支援します。 〇利用者が認知しやすい方法で伝え、適切な行動に繋がるように支援しています。 視覚：友達に会ったら(視覚)挨拶(行動)をする/水筒を見せられたら出かける準備をする/順番表を見て順番を守る、嫌な時は順番替えをお願いする/設計図通りに組み立てる/…等々 聴覚：声掛け（聴覚)で片付けや支度(行動)をする、まだ続けたい場合は相談する/タイマーが鳴ったら終わる/指示通り作業する/苦手な音が聞こえそうな時はイヤーマフをする/…等々 他の感覚：暑かったら上着を脱ぐ、エアコンを下げるようにお願いする、冷たいものを飲む/トイレに行きたくなったら一人で行く、サインで知らせて付き添ってもらう/等々 〇同じ支援目標でも、利用者ひとり一人に合わせた「適切な行動」が選べるよう支援します。 「挨拶」の例 ： 利用者A;場面に合わせ「こんにちは」「さようなら」を言う。B;支援員から挨拶し、返してもらう。C;支援員が手の平を見せてタッチしてもらう。D;手話。…等々 「着替え」の例 ： 利用者A;着替え後に脱いだものを畳む。B;向きを合わせて置いて前後逆にならないように着る。C;ズボンの着脱の際、足を上げてもらう。等々 ・認知→不適切な行動(自傷行為や他害行為等)が現れた場合は、その予防や回避、改善に取り組みます。 〇行動障害への予防及び対応等：敏感な感覚、苦手な感覚について把握し、予防や回避するための環境を整える。
	言語 コミュニケーション	・利用者が自分の気持ちや意思を本人なりの方法で伝えられるように支援します。支援員は利用者の分かりやすい方法で伝えます。 〇言語や動作でのやりとりを通して、コミュニケーションの基礎的能力の向上を目指します。 言葉でのやりとり/サインやカードでのやりとり/50音表でのやりとり/指さしやクレーン行動でのやりとり/表情で読み取る…等々 〇会話全般のマナーも利用者に合わせて伝えています。 相手との距離感/声の大きさ/会話の始め方（いきなり話し始めない、割って入らない）/断られた時の対処方法/…等々

<table>
<tr><td></td><td>人間関係
社会性</td><td colspan="3">・遊びや会話を通して、本人と周りとの関係づくりを支援します。
・みんなが安心して暮らしていくためのルールやマナーを学びます。時には話し合って、新しいルールを決めます。
〇いつでも相談できるような環境づくり　　〇遊びや会話を通しての仲間との関係づくり　　〇ゲームやごっこ遊び、スポーツなど通じてルール作り
〇社会生活・自立生活を送る上でのルールやマナーを身に付ける。　　〇自分を守る方法を身に付ける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">家族支援</td><td>〇連絡ノートやＬＩＮＥ、お電話などでお互いに情報を交換し、支援や子育てに活かしています。
〇相談事がある時はお互いに連絡を取り合い、解決に向けての話し合いをします。</td><td>移行支援</td><td>〇進学・就職・余暇活動などで新しい場所に行っても困らないように、いろいろな基礎を学びます。
〇お出かけを通して社会との関わり方やルールを学びます。（交通マナー、買い物、バス電車の乗り方、図書館の利用法…等々）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域支援・地域連携</td><td>〇地域の防災訓練の参加
〇地域とつながりの取組(地域の児童館、地域住民との交流・行事等)</td><td>職員の質の向上</td><td>〇事業所内研修　　〇外部研修の派遣など
〇療育・制度、5領域等にかかる読み合わせ等</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な行事等</td><td colspan="3">春：花見、　　夏：七夕、プール　　秋：お団子づくり、　　冬：クリスマス会、新年会

よく出掛けるところ：南安倍公園、るくる、蓮華寺池公園、ショッピングモール、スーパー田子重、安倍川河川敷、西ヶ谷プール
時々行くところ：動物園、うみしる、温泉、夢テラス
避難訓練、卒業式</td></tr>
</table>